

「ゼロカーボンアイランド」
の実現に向けて

佐渡市と粟島浦村は2050年までに CO₂排出量実質ゼロを目指します

環境省では、地球温暖化対策として、2050年にCO₂の排出量を実質ゼロにすることを目指す自治体を「ゼロカーボンシティ」として国内外に発信しており、全国の地方自治体に参加を呼び掛けています。

2月17日現在、国内では、東京都、京都市、横浜市をはじめとする63の自治体に参加を表明するなか、昨年、新潟県は「自然エネルギーの島構想」を公表しました。

環境負荷の低減とエネルギー供給源の多様化を図ることを目的として、洋上風力発電の導入と再生可能エネルギーを貯蔵・輸送・利用するための水素サプライチェーンの構築等を掲げる「自然エネルギーの島構想」は、離島のエネルギー転換と脱炭素化に向けた取り組みを主導するとともに、持続的な開発目標(SDGs)の達成や地球温暖化問題を解決するための切り札となりうると考えています。

このため、佐渡市と粟島浦村は、まずは着実に「自然エネルギーの島構想」の取り組みを進めることを決意して、2050年までにCO₂の排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンアイランド」の実現を目指すことを共同宣言しました。

(新潟県内および全国離島自治体では、佐渡市と粟島浦村が初の参加表明になります。)



小泉環境大臣を表敬訪問(2月12日)



粟島浦村の本保村長と共同宣言(2月23日)

家庭から出る植物性廃食用油(廃食用油)の回収場所を変更します

4月1日から廃食用油の回収場所を変更し、次の場所で回収します。

廃食用油は、透明なペットボトルか食用油購入時の半透明容器に入れ、キャップをしっかりと閉めて回収箱に入れてください。牛乳パック、ビン、缶は回収容器として使用しないでください。

事業所(飲食店等)の廃食用油、動物性油、機械油などは回収できません。

回収場所	回収日
市役所本庁舎、各支所・行政サービスセンター	月～金曜日 8:30～17:30
佐渡クリーンセンター、南佐渡クリーンセンター	月～土曜日 8:30～16:30
J A エコープ佐渡(加茂店、新穂店、畑野店、赤泊店)	随時(店舗により営業時間内に限る場合があります)
J A 委託店(河崎店、沢根店、吉井店、ふれあいショップフジサワ店、松ヶ崎店)	
J A 羽茂 A コープ羽茂店	
キング(サンモール店、相川店、東大通店)	
フレッシュ マツヤ(両津店、佐和田店、金井店、真野店)	
小木特産品開発センター	

お問い合わせ 環境対策課 環境エネルギー係 ☎63-3113